

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	ゲストハウス気仙沼アーバン
実習期間	平成30年2月9日 ～ 平成30年2月13日
学生氏名	梶原鈴紋
実習プログラム	1日目：進路相談会準備、セミナー準備、前日の後方付け、コート預かり 2日目：新年会会場準備、前日の後方付け、表彰式会場準備、コート預かり、宴会見学 3日目：会場準備、前日の後方付け、次の日の会場準備、コート預かり 4日目：前日の後方付け、新年会会場準備 5日目：チャペル見学、葬儀見学、大船渡会場見学
学び・気づき (300字程度)	私は、この度の実習で仕事の大変さ、楽しさを学びました。例えばコート預かりです。次々とお客様がくる中「今日寒いね」「研修生？」など話しかけてくれるお客様がいたのですが全く余裕がなく愛想笑いしかできませんでした。その時従業員の方に「もっとお客様の事を見て丁寧に話をしてね」注意をされました。私はそんな余裕絶対ないと思っていました。しかし、従業員の方々はお客様とお話しながらコート預かりをしていました。私には余裕がないこと、話をしながら同時にコートをかける事ができてない事がわかりました。次の日、「がんばってね」「どこから来たの？」など励ましの言葉などもらえ、とても楽しく感じました。私は学生残りの二年間でやりがいを持てる仕事を探していきたいです。そのためにも来年度もインターンを履修するつもりです。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	この度の実習で私は、次に何を行動すればいいか考えることができませんでした。例えば、表彰式が行われた後同じ会場で、宴会があることは分かっていたのですが、表彰式が終わるまでボーっと見ていました。その時「梶原さんも動いて！」と注意をされました。「ただ見ているだけでなく次に何をやるか考えようね」と言われました。私は課題として次に何をするか考えながら行動できる人になりたいと思いました。仕事をすることで、その課題解決ができると思います。私は現在バスケットのマネージャーをしており、その中で常に意識して取り組んでいきたいと思っています。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	とてもファミリー感が強い職場でした。従業員の皆もだが、お客様とも家族のように話していました。しかし礼儀がきちんとあり失礼のない関わり方でした。中でも私を担当してくれた方が印象に残っています。高校卒業後すぐにアーバンで就職していました。とても明るく真っ直ぐな方でした。手の組み方など注意されたりもしたがその後はいつものようにいろいろな話を聞かせてくれました。
写真 (1～3点)	